

ともに歩もう、この先の秦野へ

くわはら
秦野市議会議員 桑原まさゆき



皆様、こんにちは！

いつも温かいご支援、本当にありがとうございます。

今夏も暑い日が続いており、梅雨明け以降は適度な雨が降らず全国各地から渇水のニュースが届いています。自然には抗うことができませんが、私たちのちょっとした取り組みが環境を守ることに繋がると信じています。さて、早いもので2023年8月27日の選挙から約2年が経過しようとしています。日頃の議員活動はSNSやホームページなどで報告させていただいてありますが、今夏も紙面による活動報告を作成いたしました。どうぞ最後までお読みいただけましたら幸いです。

一人ひとりの物語を大切に、ともに歩もう、この先の秦野へ



「ともに歩もう、この先の秦野へ」をモットーに市民の皆様の声を聞かせていただきながら協働してよりよいまちづくりをしようと歩き回った2年間でした。

おかげさまで2年目はより多くの皆様との交流の輪が広がり幅広い視点で本市の課題を見つめることができるようになったと感じています。

私の専門分野でもあるスポーツや教育に関わることから商業・農業・工業などの産業や健康・福祉、さらには道路整備や防災、上下水道など、全ての分野は地続きであることを痛感しているところです。

昨年8月の台風10号による大雨によって、地元である大根・鶴巻地区をはじめ市内各地で土砂流出や浸水、道路陥没など大きな被害となりました。さらに善波トンネル脇の土砂崩落による通行止めによって車の往来ができず、交通や流通にも大きな影響がありました。

こうした災害時には地域の皆様や市役所職員の皆様との密な連携が欠かせないことを改めて体感すると共に、日頃から市内各地を歩き回っておくことの大切さを再認識すると共に「一人ひとりの物語を大切に、ともに歩もう、この先の秦野へ」という想いが強くなりました。



2024年9月第3回定例会月会議(一般質問)

- 1 8月の災害対応について
- 2 児童・生徒の個人情報の管理について
- 3 はだのスポーツビレッジの進捗について

当日の動画→



昨年の8月は南海トラフ地震臨時情報、神奈川県西部地震、台風10号による大雨被害があり、防災について改めて考えさせられました。

新たな防災情報システムを使いながら全庁で全力で対応する姿に感謝しつつ質問。市民向けの情報発信など見つかった改善点は

今後の課題とします。

市内小中学校ではデジタル化により「個別最適な学び」と「協働的な学び」が一体的に進められるよう環境整備が進んでいます。児童生徒の学習データなど多くの個人情報を扱っていることから教職員に負荷がかからぬようセキュリティ対策を講じてほしいと思います。

去年は「はだのスポーツビレッジ構想について」質問したので今回はその進捗についてお尋ねしました。この時の答弁では、不透明な点もありましたが、現在は着工に向けて動き出しています。今後は、秦野市サッカー協会と共に活用について意見交換を行いながら見守りたいと思います。

2024年12月第4回定例会月会議(一般質問)

- 1 誰一人取り残さない教育について
 - (1) 不登校児童生徒の現状と課題について
 - (2) 不登校児童生徒に対する取組について
 - (3) 誰一人取り残さない学校の在り方について

当日の動画→



児童生徒、保護者、教職員、誰もが苦しい思いをしてしまう「不登校」は教育だけの問題ではなく、社会全体で一刻も早く解消に向けた取り組みを進めなければなりません。

そこで「令和の日本型教育」のもとで学校に通う「はだのっ子」のために「誰一人取り残さない教育について」3つの観点から質問し、皆さんと共に不登校問題の解決に向けた歩みを進めたいと考えました。

本市においても不登校児童生徒は増え続けており、その要因もさまざまですが、「こどもたちが考える学校に行きづらい」と思い始めたきっかけ（不登校の子どもと保護者実態ニーズ全国調査）によると「先生との関係」「勉強はわかるけど

授業が合わない」「学校システムの問題」がトップ3となっています。

「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLOプラン）」等を踏まえ、不登校の児童生徒全ての学びの場の確保、「チーム学校」での支援、誰もが安心して学べる魅力ある学校づくりを推進することはもちろんのこと、「はだのこども居場所マップ」の活用など子どもたちを支える団体との協働を推進してほしいと願っています。

終わりに「早期に全ての子どもを包摂する学校への転換を！」「市費の非常勤講師等を積極的に採用し教職員の充実を！」「こども健康部と教育部の更なる連携強化を！」と3つの要望を行いました。

2025年3月第1回定例月会議(代表質問)

当日の動画→

SCAN ME



- 1 健康で安心して暮らせるプロジェクトについて
- 2 未来を拓く子育て・教育プロジェクトについて
- 3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクトについて
- 4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクトについて
- 5 誰もが健康で共に支えあうまちづくりについて
- 6 生涯にわたり豊かな心と健やかな体を育むまちづくりについて
- 7 名水の里の豊かな自然と共生し安全・安心に暮らせるまちづくりについて
- 8 市民と行政が共に力を合わせて創るまちづくりについて

3月第1回定例月会議は次年度予算に関わる大切な議会です。

会派を代表して市長から示された施政方針について質問する大切な役目を仰せつかり、初めての代表質問は準備から緊張の連続でした。

8つの大項目から21の小項目を会派で選び、それぞれの得意分野を生かしながら全員で質問を練り上げる作業を丁寧に進めることで「ともにつくる秦野」らしさを出せたと思っています。

私たちは、「新東名高速道路の全線開通

や秦野丹沢サービスエリアの開設を目前にした、まちの活力創出に向けた投資」も重要であることは十分に認識しております。しかしながら、今は何よりも「災害対策や老朽化するインフラの整備、教育、福祉、農業等、日々の暮らしに直結する、市民一人ひとりが安心、安全に笑顔で毎日を送ることができる事業」にこそ積極果敢に投資をすべきではないかと訴え、「令和7年度秦野市一般会計予算を定めることについて」反対の意思を表明しました。

2025年6月第2回定例月会議(一般質問)

- 1 AI時代を生きる子どもたちの学びと育ちについて
 - (1) NEXT GIGAに向けた本市の取組について
 - (2) 就学前の子どもたちのデジタル対策について

当日の動画→

SCAN ME



AIの急速な普及によって私たちを取り巻く環境が激変する世界の中で、子どもたちの学びと育ちはどうあるとよいのでしょうか。

スマホやタブレット端末など私たちの身近にあるデジタル機器とどのように向き合えばよいのか社会全体で模索が続いています。

そこで第2回定例月会議においては、「NEXT GIGAに向けた本市の取組について」「就学前の子どもたちのデジタル対策について」2つのテーマで質問。

1. 本市の教育について積極的に発信し、教育活動の充実を図ること
2. 子どもたちの学びが広がり、教職員がその学びを支えるために充実したNEXT

GIGAへの準備を図ること

3. 庁内全体の連携によって「AI時代を生きる子どもたち」を支える施策を講ずること

以上、3点について要望しました。



所管事務調査

議会運営委員会・各常任委員会では、所管事務調査として各地へ赴き、他の自治体から先進的な取組等を学ぶ機会を得ています。昨年は議会運営委員会にて所管事務調査へ行ってまいりました。

2024年11月7日 宮崎県都城市

島津家のルーツであり薩摩の文化が色濃い都城では「政策提言」と「議会だより」について学ばせていただきました。

市民アンケートや議会だよりのハガキなどから幅広く課題を拾い、4つの分科会で課題を抽出して議論に入っていくとのこと。高校生から意見を聴取して都城駅をテーマにした取り組みも紹介されました。

2024年11月8日 宮崎県宮崎市

読売ジャイアンツのキャンプ地でも有名な宮崎では「議会だより」「議会DXみやだん」について学ばせていただきました。

読みやすく、分かりやすい広報は、全国どここの地方議会でも課題です。できる限り活動を知ってもらい、議会活動に関心を持ってもらうことは本当に重要です。

本調査を生かして本市の「議会だより」も読みやすく分かりやすく変革中です。

後半の2年間に向けて



9月第3回定例会より議長、副議長を始め各委員会等の役職が変わります。これまで文教福祉常任委員会、議会運営委員会、議会報編集委員会へ所属していた私も9月以降はどうなるのかは分かりませんが、どのような役割をいただいても、市民の皆様の声に常に耳を傾けるボトムアップ型で責務を全ういたします。後半の2年間においては更に多くの市民の皆様と共に秦野の未来を共創していく所存です。引き続き、ご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願いいたします。お馴染みのブルーのシャツを見かけたら気軽にお声掛けください！

桑原昌之（くわはらまさゆき） プロフィール

1967年生まれ（58歳） 南矢名育ち・北矢名在住

秦野市立大根小学校・大根中学校・神奈川県立秦野高校卒業（高37）

東京学芸大学教育学部卒業・早稲田大学スポーツ科学研究科修了

伊勢原市にて小学校教諭、指導主事など公立の現場から私立小学校の創設に関わり初代校長を務めた。現在は早稲田大学教師教育研究所招聘研究員として全国各地の学校や教職員を支援する活動にも取り組んでいる。

サッカーとバレーボールの二刀流。サッカーでは大根ラディッシュや秦野市トレセンU-12にて指導やマネジメントに関わった。現在は秦野市サッカー協会顧問。

中学校から大学までバレーボール部。秦野高校男子バレーボール部や社会人クラブ、ママさんバレーボールチームでも指導経験があり現在もクラブチームでプレー。

秦野市議会議員（1期目）会派「ともにつくる秦野」

連絡先

(TEL)080-5375-3240

(WEB)https://on-the-ball.jp/powerspot_hadano

